

シンポジウム「体罰なきスポーツ界を目指して―日韓仏の現状と対策」開催のお知らせ
体罰の比較文化史研究会会長 石井昌幸（早稲田大学准教授）

近年、日本ではスポーツ界における体罰が大きな問題となっています。これに対して多くの撲滅策が考えられていますが、依然として体罰はなくなっておらず、より陰湿化・巧妙化する傾向すらあります。

体罰は日本に固有のものとも言われますが、実際には世界各地で見られる普遍的な現象です。そして各国で対策が練られ、一掃することに成功した国もあれば、現在進行形で撲滅しつつある国もあります。その克服に成功した国や地域と日本との差違を明らかにすることで、体罰の解決に向かって前進することができるかと期待されます。

本シンポジウムでは、まずカリフォルニア大学イーストベイ校のアロン・ミラー講師に外国人研究者の目から見た日本の体罰、つづいてソウル大学の羅永一教授に韓国スポーツ界における体罰撲滅、最後にフランス・ナンシー大学のエイリック・プレラ教授にフランスの学校における体罰対策についてお話しいただきます。

会場等は下記の通りです。

<シンポジウム「体罰なきスポーツ界を目指して―日韓仏の現状と対策」>

【日時】2016年3月19日（土）13時～17時

【会場】早稲田大学 早稲田キャンパス 1号館 301 教室

講演

アロン・ミラー（カリフォルニア州立大学イーストベイ校講師）

羅永一（ソウル大学教授）

エイリック・プレラ（ナンシー大学教授）

全体討議・質疑応答

司会 石井昌幸（早稲田大学准教授）

【懇親会】17:15～

大隈ガーデンハウス（会費 3500 円）

*出席希望の方は、2月末日までに志村（cxr63721@yahoo.co.jp）へご連絡ください。

来聴無料、一般来聴歓迎です。

講演には、発表原稿の日本語訳を字幕で上映するとともに資料として配付します。

質疑では通訳を用意します。

【主催】体罰の比較文化史研究会

【共催】早稲田大学スポーツ科学学術院

科学研究費助成事業「体罰の比較文化史研究―暴力なきスポーツ界の思想的基盤構築に向けて」

【問い合わせ先】志村真幸（京都外国語大学） cxr63721@yahoo.co.jp



体罰なき スポーツ界を目指して

— 日韓仏の現状と対策 —

日時

2016年 3月 19日 土 13:00-17:00

聴講無料

一般来聴歓迎

会場

プログラム

13:10-13:50

アーロン・ミラー (カリフォルニア州立大学
イーストベイ校講師)

「日本のスポーツ界における体罰の構造」

13:50-14:30

羅永一 (ソウル大学教授)

「韓国スポーツ界における体罰の現状と対策」

14:30-15:10

エイリック・プレラ (ナンシー大学教授)

「フランスの学校における体罰の現状と対策」

15:25-16:30 質疑応答

司会: **石井昌幸** (早稲田大学スポーツ科学学術院准教授)

17:15-20:00 懇親会 (於: 大隈ガーデンハウス)

早稲田大学

早稲田キャンパス 1号館 301 教室

